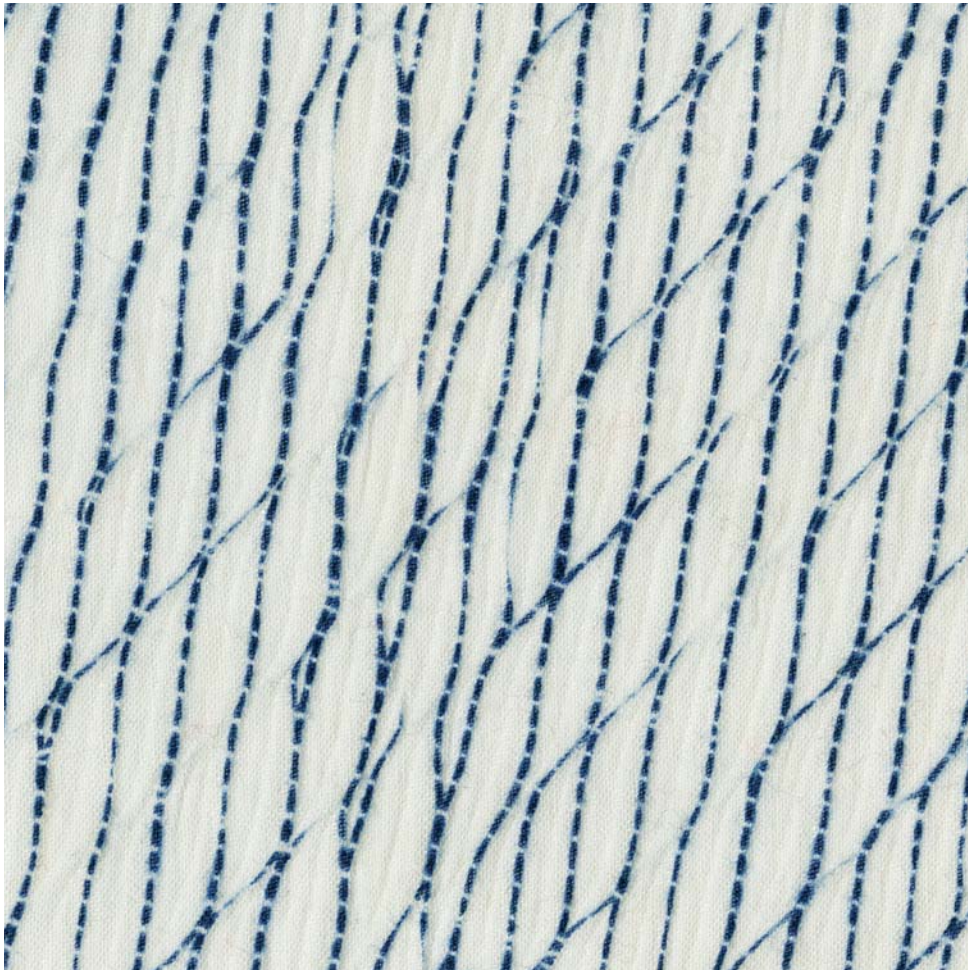




JAPAN HERITAGE
日本遺産

有松

NO.91 有松まちづくりの会



◇網目嵐紋り

その名の通り網目に見えるところからついた嵐紋りの柄です。

生地を棒に45度で右巻きにし、棒を左回転させ上から糸をかけ生地を右に捻じりながら押し縮めます。

のりを塗り乾かし、しわをくずさないように裏返し竜巻加工をする技法。

解説：竹田 昌弘

これからの有松まちづくりの会の活動方向性と会長のつぶやき

有松まちづくりの会 会長 中濱 豊

令和5年5月の総会にて会長に就任してから早くも1年が過ぎました。重要伝統的建造物群保存地区に選定され、日本遺産に認定されてからの有松まちづくりの会の活動の方向性を探る為、今年3月に”有松を語ろう会”を開催し、参加していたいただいた皆様から様々な観点からいろいろなお考えを聞いた事を嬉しく思います。

継続点、改善及び要望点、等を踏まえて私なりに極めて大まかにまとめてみますと、継続点は、町並みの景観が美しいので活用しながら維持してほしい。要望改善点は、トイレや休憩できるスペースが少ない。以上のような事に集約されるのかなと思います。この点について、町家の活用などは、名古屋市の古民家利活用事業も動き始めており名古屋歴史まちづくり推進課とも連携を図りながら、有松まちづくりの会として情報共有や意見交換を進めていきます。トイレや休憩スペースに関しては、行政、区政

協力委員会、有松商工会等と連携をして実現に向けて動いていきますので、皆様のご理解とご協力をお願い致します。

さて、ここからは、私が今年の6月下旬に見学させていただいた蒲郡クラシックホテル【旧蒲郡プリンスホテル】について少し記したいと思います。築90年【1934年2月竣工】

の建築物は、期待通りの素晴らしい建物で、外観はもとより内観の装飾も含め、ロビー、メインダイニング、皇族の方々やベールブルースも宿泊したロイヤルスイートルーム等も拝見し、ホテルの副支配人のユーモアを交えた説明に大変有意義な時を過ごさせていただきました。この時感じた事は、建物そのものが主役となっており、来訪者の五感に訴えてくる感じが強くしたのです。そして主役の周りには、名脇役のスタッフ達の言葉遣いや仕草が固めていると見受けられたのです。そう言えば以前、桜花学園大学主催の公開

講座で、ドイツニーランド顧客担当の講師の方が「ドイツニーランドでは、来園者に感動してもらう為、五感に訴える仕掛けをしている」と話されていた事が脳裏に蘇ってきました。ここで有松と自分自身の店を振り返り、来訪するお客様に五感で感動していただく様な事が出来ているのか？と、考えますと

視覚↓町並み！豪壮な山車！絞り製品！
工房見学！

嗅覚↓藍甕からの藍の匂い？古民家の匂い？
良い香りのする香を焚く？

味覚↓有松名物を創る？和菓子？
聴覚↓あないびとによるツア－説明！絞りを
括る音？染める音？店内に流れる音楽？

触覚↓絞りの凹凸感！絞り括り染体験！古民家
の大黒柱や漆喰壁に触れる！

右記に？マークが多すぎるという事は、まだまだ未完成な状態にある事が多いのかなと感じており、この点を一つ一つ着実に改善好転していけたらと思いますので皆様のお知恵を結集して町の魅力を上上げていきましょう。私自身も名脇役になれるように努力してまいります。

◎全国町並み保存連盟設立50周年

第47回全国町並みゼミ 東京大会

10月26日(土) 27日(日) 開催

有松のまちに思いを馳せて

緑区長 瀬音秀幸

今年4月に緑区長に就任し、先の6月に開催されました「有松絞りまつり」に初めて参加させていただきました。まつり初日は、天気も良く、国際色豊かに、多くの来場者でにぎわっており、私も、日本遺産として、かつての東海道の趣を醸し出す有松のまちなみや伝統的建造物に感銘を受けました。

また、いろいろな絞商品が並んだ店舗を巡り、手に取ることで、絞職人の匠の技のすばらしさに感動しました。こうした、まちなみや匠の技は、未来へと受けつないでいかなければならないと、再認識したところです。

さて、緑区役所では、次世代型の健康ウォーキングとして、クアオルト[®]健康ウォーキング事業に取り組んでいます。このウォーキングは、自然豊かで起伏のある地形を利用しながら、専門ガイドとともに普段より効果的に、しかも「がんばらず」に歩くことで、認知症や生活習慣病の予防・改善メンタルヘルスの改善などの効果が期待できる運動療法とされています。発祥の地であるドイツでは、公的医療保険が適用されているものです。

緑区は、緑が多く残り、また起伏のある地形など、

この健康ウォーキングに適したところでは、また、有松かいわいをはじめ、歴史文化を感じるまちなみや伝統ある匠の技も残っています。そうしたことから、緑区ではこうした資産に触れることのできる観光要素とウォーキングがもつ健康要素を組み合わせて実施しております。ここ有松地区でも、今年度のコース開設に向けて、先の9月23日に「名鉄のハイキング」の協力で、プレウォーキングを開催しました。

さらに、ウォーキングで体を動かした後、有松のまちめぐりや絞体験、地元グルメの「食」に舌鼓を打ち、まるつと一日、「有松」を堪能できるような取り組みができないか、検討しています。緑区にお住まいの方だけでなく、遠方からも多くの方に訪れていただき、体も心も健康になる、体験も豊富にできる、そうしたまちづくりをめざしていきたいと思えます。

有松のまちなみや建物、そして絞りを代表とす



「有松あないびとの会」会員と有松のまちなみを散策する瀬音緑区長はじめ区役所職員

る匠の技は、はじめて訪れた人、ふれた人に大いに感動を与えるものです。このまちなみや歴史的建造物、伝統的技術の保存、維持に、日頃よりご尽力されている「有松まちづくりの会」の方をはじめ、地域で活躍されている皆さんの日頃からのご努力に、敬意を表するとともに、感謝を申し上げます。区役所としても、これからも、皆さんの熱き思いに応えるべく、有松かいわいのまちづくりに力を添えていきたいと思っておりますので、よろしくお願ひします。

最後に、この伝統ある「有松」を支える「有松まちづくりの会」をはじめ、関係者の皆様のご健勝を祈念しまして、結びとさせていただきます。

「有松を語るう会」開催

令和6年3月20日(水・祝)午後 竹田家住宅(書院・応接間・茶室・三番蔵)にて

有松を思い行動して頂ける方約50名が集まり、5グループに分かれ、

①有松の魅力と課題 ②有松の理想像(未来の姿) ③理想像を実現するための具体的な行動 について話し合いを行いました。

「有松を語るう会」のまとめ

有松の魅力	有松の課題
<ul style="list-style-type: none"> ・東海道400年の歴史を感じる ・伝統産業の絞りが活きている ・有松愛が強い人が多い ・良い意味で敷居が高い(誇りがある) ・間口の広い絞り商家が並ぶ町並み ・江戸時代の町並みの美しさ、それを守る住民の意識 ・絞り体験ができる ・体験ができる強み ・絞りの技術が伝承されていて学べる場所がある ・からくり山車の祭りが魅力 ・静かな情景 ・有松独特の空間 ・絞りの浴衣は渋カッコイイ ・有松の人柄 ・外からの人が元気に活動している ・譲り合いの精神が生きている 	<ul style="list-style-type: none"> ・東海道沿いにしか町並みが残っていない ・絞り産業の後継者が少ない ・時代に合った絞り製品の開発 ・お店に入りづらい ・悪い意味で敷居が高い(排他的) ・住民が同じ方向を向いていない ・観光できる施設が無い ・建物が大きすぎて直すのが大変 ・間口の広さによる観光化のむつかしさ ・有松の認知度の低さ ・英語のサインがない ・観光客の受け入れと生活環境維持バランス ・古い町並みの建物内部や庭園、茶室の公開 ・山車、祭囃子など後継に懸念 ・所有者が維持・管理を続けることの難しさがある ・天満社の社殿や山車を維持・管理する経費の不足 ・西町には公衆トイレがない ・予約なしで町並み案内できると良い ・食べ歩きができれば...

こんな意見も

有松まちづくりの会のメンバーが、生き生き、笑顔で活動すること。

そして関心をもってくれた方々に手伝ってもらい、達成感を味わってもらい、といった地道な活動が必要だと思います。

常に話し合いの場を持ち、お互いをリスペクトし、まちづくりを楽しむこと。

自ら絞りを身につけて宣伝大使を務め、訪れた人々が身につけたいと思うような、そんなおしゃれをすることも必要だと思います。



有松の理想像(未来の姿)	理想像(未来)を実現するための具体的な行動
<ul style="list-style-type: none"> ・伝統と美観が守られている ・歴史的な懐かしさを感じる町 ・山車などの伝統文化が継承されている ・若者が絞り製品を買う町 ・新しい産業と古い伝統が融合する町 ・歩いて楽しい町 ・暮らす人も訪れる人も幸せを感じる町 ・目的地として訪れる町 ・子どもたちが自慢できる町 ・世界で通用するブランド力のある町 ・伝統文化、産業を学べる町 ・本物があり、本物にしっかりと対価を払う、(学生さんは労働でも可)高付加価値観光地 ・歌舞伎上演、絞りの衣装 ・絞り産業を中心として、他業種も取り込み盛り上げる ・子どもたちがわくわくの祭り ・絞り体験ツアーを国内外から呼び込む ・観光地になってほしくない ・有松の伝統・文化を次世代に伝える ・休憩所があり、本屋等知的好奇心をくすぐる場がある ・名鉄電車の急行停車駅に ・重伝建を中心に魅力発信 	<ul style="list-style-type: none"> ・町の方が来訪者に優しく声を掛ける ・外部の人を受け入れる ・名物料理を開発する ・公衆のトイレ、駐車場を設置する ・参加、体験型イベントを企画する ・小学生から有松全般について教える ・絞り屋をはじめ、皆がもっと絞り製品を着用する ・緑区、名古屋市、愛知県内外への積極的な広報活動 ・絞りとお茶のコラボ企画 ・市や県がバックアップしてまちづくりを推進する ・高付加価値を理解してくれるターゲットの選定とPR ・持続する為のお金の循環(有松にお金落ちる仕組み) ・よそは何をやっているかリサーチ ・まちの行事各種を掲示する(掲示板の設置) ・技術をオープンに(おもしろいものが見つかるインターンに好きなのところを見つけてほしい) ・山車会館、岡家住宅の平日開館(美術館に) ・名古屋市博物館の支館(コレクションはある) ・ルーツ、本物を残し古いものから新しいものを創る ・守破離(伝統から革新へ) ・絞り体験教室(いつ誰でも利用可能な常設) ・老若男女ゆったりできる食物屋、名物土産物屋 ・有松で働きたい、住みたい方が気軽に相談でき、建物の活用方法なども相談できる窓口の整備 ・絞りの良さを体験した人々に情報発信してもらう ・若手デザイナーを呼び込み、素材としての絞りの良さを知ってもらうイベントを開催する ・染め花(吸い上げで染める)など新たなジャンルの紹介 ・岡家住宅が目玉になればいい ・モスアリマツを有効活用したい(違うジャンルの交流機会・モヤモヤを共有する場・女性活躍の場)

※有松まちづくりの会は「有松を語るう会」にて頂きました貴重な意見を参考にし、今後の会の活動計画を検討しています。

(山田修生)

有松まちづくりの会総会 令和6年5月22日

瀬音(せおと)秀幸新緑区長始め緑区役所関係部署
名古屋市歴まち課・観光推進課の皆さんの列席の下、
有松・鳴海絞会館で今年度の総会が開かれました。
議事は、

- ・令和5年度事業報告並びに収支決算報告について
- ・令和6年度事業計画並びに収支予算案について
- ・会則の一部改正について

いずれも賛成多数で承認されました。

審議に先立ち、中濱豊会長から「皆さんのお力添えをいただき、有松まちづくりの会の活動を進めていきたい」との挨拶がありました。

3月末に開催された「有松を語ろう会」でご提案いただいた多くの意見を集約し、未来を見据えたまちづくりに取り組んでいくこととなります。その第一歩として、環境整備を進めることが計画されています。具体的には公衆トイレの設置や重伝建地区内での路上禁煙活動です。

「有松を語ろう会」で出された提案を基に、今後のまちづくりの検討が進められています。詳しい内容については、P4・5をご覧ください。(伊藤総後)



おもてなし研修

有松日本遺産推進協議会主催の「ありまつ・接遇力向上研修」第2弾が、8月6日と9月3日、有松あないびとの会の会員を対象に行われ、両日も30名程度が参加しました。会場は有松・鳴海絞会館の2階、講師は現役のANAの客室乗務員、昨年と同じ牛田さんと原口さんでした。お二人は今年の絞りまつりにおいてになり、岡家住宅の会場で作られた絞り染めの美濃和紙の団扇を持参されました。

おもてなしの第一にあるのが第一印象、とりわけ笑顔。これは昨年の研修と同じでしたが、取り返しのつかないのがこの第一印象ですので、皆で再認識しました。

おもてなしをする立場で身につけたい習慣の一つが丁寧な言い回し「おそれいりますが」とか



「あいにくですが」を始めにつける言い方でした。今回の研修では「クッション言葉ワーク」という名前がついて紹介されました。前回学んだ「おもてなし基本の3ステップ」が、今回「お客様対応の5サイクル(観察・検討・行動・確認・振返)」にバージョンアップされていて、実習を交えて取り組みました。また外国の方への対応・交際マナーとして、アメリカ・イギリス・フランス・中国・タイ各国の方々の特徴とタブー、ボディランゲージの違いなどを学びました。さらに、自己紹介の練習もしました。表情、身だしなみ、立ち居振る舞い、話し方などに気を付け、お互いに厳しく？チェックしました。

私たちは、有松にいらした方が有松での時間を楽しく安全に過ごしてくださることを目指しています。有松の印象を左右する立場にあると肝に銘じ、さらなるスキルアップを誓い合った研修でした。(山本文雄)



町並みの 新しい仲間

COMPASS

どんな時も変わらず同じ方向を指し示すコンパスのように、世の中の流行り廃りとはちよつと距離を置き、自分たちの気に入ったものだけを世界中から新旧問わず色々集め、普遍的でブレることの無い価値観を持つお店作りを心掛けています。

世界中の生活雑貨やオブジェ、アウトドアグッズ、北海道の木彫り熊、趣味のフライフィッシング関連の道具やアートなどを取り揃えてお待ちしております。



店主経歴：IDEE、Pass The Baton のバイヤーなどを
経て、2012年矢場町にCOMPASSをオープン。
2020年鶴舞SURIPU 2階の間借りを経て
2024年4月有松に移転。

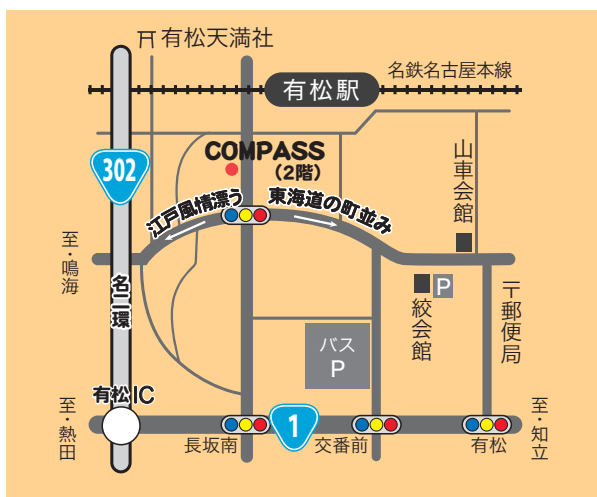
住所 名古屋市緑区有松 1907 有松ビル 2階
(ありまつ接骨院さんの上です)

営業時間 月木金 11:00 - 18:00
土日祝 10:00 - 17:00

定休日 火曜日、水曜日

Instagram: @compassnagoya

#フライフィッシング #ピッケル #トーテムポール
#木彫り熊 #barbour #柴崎重行 #星野道夫
#開高健 #吉田博 #坂本直行 #畦地梅太郎



街角ウオッチング ②⑥ 青花ツユクサの花弁

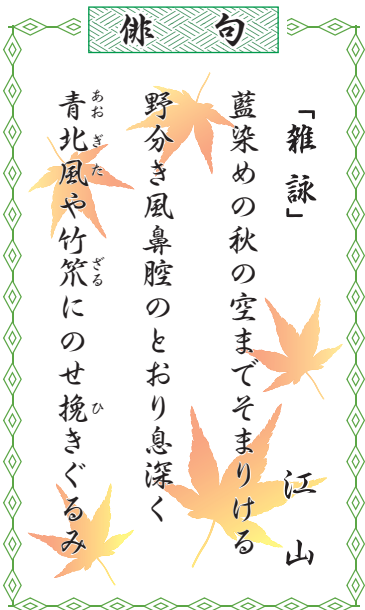
今年は何年より遅い梅雨入り、明ければ猛暑の
そんなある日、バスに乗り遅れて刈谷新道を歩い
ているとふと、ツユクサが目にとまりました。
「あつ、つゆくさだ!!」と思わず花びらを取り指で
押ししてみました。やわらかい花びらから青い汁が
指に付きました。これが青汁です。最近では空き地
や叢がなくなり、ツユクサを見ることも少なくな
りました。少し振りに見つけたツユクサです。

このツユクサの青汁は付着しても水洗いすれば
消えるので下絵描きに最適です。むかしはツユク
サ科・アオバナの花弁から抽出した青汁で絞り
染めの下絵描きがおこなわれていました。友禅の
下絵描きにも使われたそうです。

昭和の中頃からは青花の代わりとしてヨードに
澱粉を加えた化学青花(代用花)が主流となりまし
た。代用花の色は過熱で消え、又数ヶ月から一年
で自然に消えるのが特徴です。ツユクサの青花は
一年以上消えないので、長期作業の作品の作成に
今でも使われるそうです。

(浅野康子)

～秋の有松ブンカサイ～



◆「絞」瓦灯りストリート
 日時 10月21日(月)～27日(日) 17時～21時
 場所 山与遊歩道

◆有松ミチアカリ
 日時 10月26日(土)・27日(日) 17時30分～20時
 場所 有松東海道西町・祇園寺境内

◆徳川家ゆかりのお茶室でお抹茶を一服
 日時 10月26日(土)・27日(日)10時～16時(受付)
 場所 竹田家茶室「栽松庵」

◆雅と幽玄の世界へ誘うモダン雅楽公演
 日時 10月26日(土) 17時30分～18時30分
 場所 竹田家書院・中庭

◆いけばなストリート展2024
 日時 10月26日(土)・27日(日) 10時～17時
 場所 有松東海道(竹田嘉兵衛商店他)

◆国際ファクション専門職大学展示
 日時 10月26日(土)・27日(日)
 場所 モスアリマツ

◆有松町家ライブ 場所 棚橋家住宅
 ★茶の湯と二胡ライブ
 日時 10月26日(土) ①10時～ ②10時45分～
 ③13時～ ④13時45分～

★秋の奏 Super Acoustic Session(SAS)
 日時 10月27日(日) 14時～

◆いけばな体験会
 日時 10月27日(日) ①10時15分～ ②13時～
 場所 竹田家三番蔵

◆アリマツチケット
 日時 10月27日(日) 10時～16時
 場所 有松天満社・モスアリマツ

◆主な来訪者 ◆(有松あないびとの会のご案内分)

- ・広報なごや緑区版「みどさんぽ」
 - ・阪急交通社「東海道五三次を歩く」
 - ・桜花学園大学・桜花学園大学留学生
 - ・浜松 萩岡地区老人クラブ連合会
 - ・鯉城会歩いて知ろう会
 - ・豊橋市年金者組合
 - ・名古屋商科大学留學生
 - ・名古屋市立東丘小学校
 - ・小林豊子さまの学院
 - ・鳴海歴史倶楽部
 - ・中鯉城学園
 - ・愛知学院大学
 - ・相山女学院大学
 - ・青山きもの学院
 - ・シニアクラブ掛川
 - ・クラブツーリズム
- ※少人数グループのご案内を継続しています。

◆編集後記◆

災害級の猛暑が続いた今年の夏。有松では7月、有松小学校の創立一五〇周年を祝う花火に新旧住人、老若男女、多くの人々が、有松の長い歴史に想いを馳せながら夜空を見上げ楽しみました。3月の「有松を語る会」で感じた、みんなで作る、みんなが表現し、思いを共有するという事の楽しさ、大切さに通ずるものがあるように思いました。

半世紀を経ても、やっぱり「町並みはみんなのもの」。これからも思いを口にし、言葉の力も借り「町並みはわたしが守る」有松のまちとなりますよう、力を合わせていきましよう。(加藤明美)

◆有松まちづくりの会はホームページを公開しています。「有松のまち」で検索。

◆〈有松まちづくり憲章〉
 私達は、先人から受け継いだ有松のたからものを守り、次世代に届けるために、この憲章を定めます。
 一、有松の町並み・絞り・山車を守り、誇ります。
 一、人と人がつながり、ぬくもりのある有松を創ります。
 一、有松の歴史や物語を学び、遊び、伝えます。

有松まちづくりの会
 二〇二四年九月三十日発行 (年一回発行)
 〒458-0924 名古屋市緑区有松三〇一二(有松商工会内)
 TEL (052) 62110178
 FAX (052) 62217401